

平成27年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

平成27年度 事業報告

《 概 況 》

平成27年度、予防医学振興事業、福祉事業、音楽文化振興事業の三つの事業分野で、引き続き多岐にわたる事業を実施しました。

予防医学振興事業においては、住友生命総合健診システム(人間ドック)において、平成27年度は総合健診受診者数22,285名と多くの方々にご受診いただきました。また、聴力障害者や介護家族の会員向けの優遇健診についても、引き続き実施しました。

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。また、その運営を通じて得られた知見については、学会等で積極的に発表を行っています。

また、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行う8大学・11名の若手研究者に海外医学研究助成金を、永年にわたりへき地等で地域医療に多大な貢献をされている6名の医師に地域医療貢献奨励賞を贈呈しました。

福祉事業においては、25年目を迎えた「スミセイさわやか介護セミナー」をはじめ、介護セミナー(ケアする人のケアセミナー、遠距離介護セミナー)を開催しました。また、コミュニティケア活動支援センターを通じて「自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動」と「高齢者支援活動」を支援しました。子どもの健全育成を願って、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する「子どものための児童館とNPOの協働事業」、次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援し、自然環境学習につなげる「子どもエコ俳句大賞」を実施しました。

音楽文化振興事業においては、年間企画は3年間にわたり、「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」と題し、モーツァルトの20歳から35歳で亡くなるまでの15年間を5年毎に区切り、時代を追って彼の名曲を味わっていただくというもので、平成27年度はその最終年度でした。バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も4年目を迎えました。

若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組としてユースシートを継続し、またOsaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約3,000人がいずみホールを訪れました。障害のある方々とサポートする方々をコンサートに招待する「いずみホール夢コンサート」は13回目を迎えました。

各分野、個別事業の取組内容については次のとおりです。

I 予防医学振興事業

1. 住友生命総合健診システム(人間ドック)

予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理に資する住友生命総合健診システムは、設備の充実、きめ細かい受診者対応と相まって、引き続き多くの方々に受診いただきました。

平成27年度、総合健診受診者数は22,285名、1日あたり平均87名となりました。初回受診者は3,126名となり、初めての方にも数多く当施設をご利用いただきました。

また、実施8年目を迎えた特定健診・特定保健指導の年間受診者数は、8,270名となりました。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診		特定健診・特定保健指導			
	受診者(うち初回受診者)	(初回割合)	受診者	当日面談	後日面談	情報提供
男性	12,432 (1,619)	(13.0%)	5,043	1,825	356	2,862
女性	9,853 (1,507)	(15.3%)	3,227	1,164	352	1,711
合計	22,285 (3,126)	(14.0%)	8,270	2,989	708	4,573

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全に快適に提供するため、画像診断レポートニングシステムの導入、超音波装置の更新等、計画的に設備・施設の更新を行い、健診内容の品質向上に継続して取り組みました。健診結果のご照会窓口を設け、受診者のご質問によりスムーズにお答えする態勢を構築いたしました。

また、18年目を迎えた聴力障害者無料健康診断を平成28年2月6日に実施、平成21年度から実施している大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を継続し、健康管理が疎かになりがちな層への健診サービスの提供に努めました。

主な取組事項はつぎのとおりです。

人間ドック健診施設機能評価の認定更新	日本人間ドック学会の人間ドック健診施設機能評価が5年目の更新期を迎え、平成27年5月に更新認定を受けました。
レポートニングシステムの導入	平成27年11月にレポートニングシステムが稼働いたしました。従来は記載された所見用紙から、健診システムに入力していましたが、ペーパーレスとなり、また技師、1次読影、2次読影の変更履歴や意見の交換も容易となり、健診の精度の向上にもつながりました。
尿検査マッチングシステムの導入	平成28年3月に尿検査マッチングシステムを導入しました。これにより、採尿カップから検査管への移し替えの際にバーコードによるマッチングが可能となり、取り間違えが皆無となり、リスクが軽減しました。
分析装置の更新	平成27年8月に超音波装置および便潜血分析装置を更新いたしました。これにより、検査結果の精度が一層向上いたしました。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査の充実	平成27年4月より上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査を土曜日にも実施することとし、受診者の利便性向上に努めました。
当日病診連携の開始	健診結果に関して、より早期に病院での精密検査を受診いただいた方がよいと判断される方には、その場で病院予約する対応を開始しました。平成27年度は、40名の方に当日病院予約を実施しました。
禁煙指導の充実	平成27年10月から禁煙意志ありの受診者について、禁煙パンフレット、禁煙医療機関リストをお渡しするなど、禁煙指導を充実させました。
X線検査結果の提供用画像データのCD化	平成27年4月から、X線画像の提供依頼があった場合、従来フィルムで提供していたものをCDで提供するように変更しました。
脳ドック提携先施設の新設	平成27年4月に脳ドック提携先施設として新たに富永病院と提携しました。
健診結果の専用ご照会窓口の設置	平成27年4月にダイヤルインの健診結果専用電話番号を設けました。これにより受診者からの健診結果に対するご照会によりスムーズに対応いたしました。
聴力障害者無料健康診断の実施	平成28年2月6日に聴力障害の方を対象にした無料健康診断を実施しました。公益社団法人大阪聴力障害者協会・公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会等を通じ告知を行い、多数の申込のうち71名（男性35名、女性36名）の方が受診されました。受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。この取組は18回を数え、これまでの延べ受診者数は1,321名にのぼっています。
「介護家族の会」会員への総合健診受診の優遇	親や配偶者の介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」の会員で現に介護に携わっておられる方を対象に受診優遇を継続実施し、36名の方に受診いただきました（受診料10,000円）。

住友生命総合健診システムの運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、平成27年度については以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第3回大泉会総会 講演	5月28日	太閤園
人間ドック施設からお伝えできること 【講師】堀本葉子		
三井物産株式会社 関西支社 健康セミナー	7月13日	三井物産株式会社関西支社
胃癌、乳癌検診について 【講師】堀本葉子		
第44回日本消化器がん検診学会近畿地方会	8月29日	大阪国際会議場
「腹部超音波がん検診の”いま”そして”これから”」～カテゴリー分類の精度向上を目指した取り組み～ 【発表者】長尾顕一		

第42回日本超音波医学会関西地方会学術集会	9月26日	大阪国際会議場
大網原発Paragangliomaの1例 他4演題 【座長】長尾顕一		
第25回日本乳癌検診学会学術総会	10月30日	つくば国際会議場
乳癌検診コース別受診状況と逐年受診を踏まえた成績について 【発表者】馬本深幸 【共同演者】宮脇美沙、亀岡美幸、上田裕美子、川崎幸代、田中和美、田内周子、中山由香、長尾顕一、堀本葉子		
第44回日本総合健診医学会	1月29日～30日	京王プラザホテル
特定保健指導における禁煙指導効果に関する検討 【発表者】氏原実香 【共同演者】鈴木聡子、奥山令子、宮寄智子、野田直子、大原郁美、木下美佳、寺田博美、本田笙子、久保満明、堀本葉子		
当システムにおける胸部健診(胸部単純X線検査とCT検査)成績について 【発表者】堀本葉子 【共同演者】松葉敏之、増田佳純、眞杉徹、小山平幸、田中和美、寺田博美、長尾顕一、久保満明		
一般口演 超音波検査について 【座長】堀本葉子		

2. 海外医学研究助成

日本国内の大学を卒業し、医学博士の資格を取得後、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行うために海外の大学または学術研究機関に留学する若手研究者に対し、一人あたり150万円の研究助成を行いました。平成27年度は8大学、11名への助成を実施しました。

(助成対象者一覧は次頁のとおり)

氏名	大学	留学先	専攻	研究課題
川村 匡	大阪	アメリカ スタンフォード大学	心臓血管外科	iPS 細胞由来心筋細胞と有茎大網を用いた収縮機能を有する心筋組織体の作成
星野 岳郎	東京女子 医科	フランス パリ第7大学	神経内科	人種差を考慮した急性脳血管症候群の 診断・治療の確立
長尾 元嗣	日本医科	スウェーデン ルンド大学	内分泌糖尿病代謝内科学	マイクロRNAを介した膵 β 細胞脂肪毒性 発現機構の解明
吉田 栄宏	大阪	アメリカ ジョン ホプキンス大 学	器官制御外科学 泌尿器科	膀胱癌に対する免疫監視機構を標的とし た治療法とバイオマーカーの開発
寺崎 道重	昭和	スウェーデン カロリンスカ研究 所	糖尿病代謝内分 泌内科	高血糖と動脈硬化についての関連性
吉田 祐志	大阪	アメリカ コーネル大学	呼吸器免疫アレ ルギー内科学講 座	TNF α による骨代謝機構の分子メカニズ ムの解明
三代 雅明	大阪	アメリカ ダナ・ファーマー癌 研究所	消化器外科	代謝の観点からのがん新規治療法開発
南條 成輝	金沢	アメリカ カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	腫瘍内科	CRISPRシステムを用いた肺がん転移マ ウスモデルにおける転移制御の研究
高田 知朗	鳥取	スイス チューリッヒ大学	機能病態内科学	SGLT2阻害薬による腎保護作用の病態 解明
工藤 勇人	東京医科	アメリカ MDアンダーソン がんセンター	呼吸器・甲状腺 外科学分野	肺癌における新たなバイオマーカーの探 求
宇治 彰人	京都	アメリカ ドヘニー眼研究所	眼科学	高解像度3次元血管イメージング法の開 発、臨床研究

3. 地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は9年目を迎えました。平成27年度、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、平成28年2月20日に表彰式を行いました(副賞50万円)。

土井 和博	山形県酒田市 酒田市立八幡病院・院長
昭和56年自治医科大学卒。昭和59年4月から川西町立病院に2年間勤務。その後、昭和61年6月からへき地医療機関である町立八幡病院(現在の酒田市立八幡病院)に勤務し、義務年限終了後も、引き続き同病院へ勤務。平成6年4月には同病院の院長に就任し、現在まで29年間にわたり高齢化が進む山形県庄内北部の中山間地域の医療を担う唯一の公的医療機関として大きく貢献している。同病院での外来・入院診療はもとより、救急告示病院としての救急患者への対応、通院困難な高齢の患者に対する在宅医療や併設する訪問看護ステーションによる訪問看護の実施など、住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、地域の医療福祉との連携に大きく寄与してきた。さらに、平成17年11月の酒田市との市町村合併後は、隣接地区で常勤医師不在である酒田市国民健康保険松山診療所への週3回の医師派遣や県内唯一の離島である飛島の飛島診療所への定期TV電話診療や出張診療にも尽力している。八幡地区内では院長による継続的な診療に安心感を抱く患者やその家族も多く、精神面でも大きな支えとなっている。そのほか、人材育成の面から毎年多数の研修医の地域医療研修を受け入れ、地域医療のあり方や取り組み方の指導・伝達を行い、今後の地域医療の充実へ積極的に注力している。	
岸本 秀文	新潟県妙高市 新潟県立妙高病院・院長
昭和61年自治医科大学卒。卒業後、県立松代病院、県立六日町病院など豪雪山間部のへき地病院を歴任した後、平成16年に生まれ故郷の県立妙高病院に院長として着任。県立妙高病院は常勤医師内科4名、病床60床の地域病院で、この地域は豪雪地域という過酷な気象条件のほか、過疎も進んでおり、周囲に開業医が数名しかいない地域。そういった状況を踏まえ、診療においてはプライマリ・ケアを中心とし、住民のニーズに応える形で在宅医療にも注力してきた。また、それらに関連し、福祉・介護との連携を密にするため、地域の保健師、ケアマネージャー、福祉施設関係者と地域連絡会を通じて、顔の見える関係作りを行った。また、早期がんの発見とターミナルケアを中心としたがん治療等も地域医療に取り入れるなど、通常のプライマリ・ケアの範囲にとどまらない幅広い地域の医療需要に応えている。院長就任前に勤務していた県立中央病院との人間関係を生かし、長期間の両病院の連携関係を構築している。また医師との関係だけでなく、院長就任から数百回に及ぶ(ほぼ毎週開催)院内勉強会を通じ、他の医療スタッフとの関係も粘り強く作り上げてきた。結果として、それぞれがお互いに支え合う優しいネットワークの構築につながっている。地域医療の本質である「支え合いのネットワーク」づくりに注力している。	

金田 道弘	岡山県真庭市 社会医療法人 緑社会・理事長
昭和54年川崎医科大学卒。昭和61年4月の緑社会理事長就任以来、急性期医療を中心とした医療提供体制の充実を図っている。社会医療法人として、真庭保健医療圏および新見市を含む周辺地域の急性期医療の責任を果たすため、職員の協力を得て、当直医以外にも副当直医、呼出医制をとり、最近では原則断らない救急病院として、年間 1,000件を超える救急搬送を受け入れている。また、近隣の医療機関同士が競合関係にあると、住民に迷惑をかけるだけでなく、非効率な医療提供体制や医療スタッフの疲弊を招くとの考えのもと、近隣の同規模病院(落合病院)と、診療体制や今後の経営方針、医療情報についての情報共有を図り、いち早く「競争から協調」を実現した。広域的な視点では、副理事長を務める、平成18年6月設立のNPO岡山医師研修支援機構で、多くの病院の開設者や管理者、県行政職員、岡山大学教授、弁護士等が参加する「地域医療部会」(会員数約120名)を主催し、地域住民のための医療のあり方、医療ニーズにあわせた経営管理のあり方等について情報交換、意見交換を行い、地域医療構想が目指すところの医療機能の分化と連携の推進に多大な貢献をしている。更に、岡山大学や川崎医科大学等から医学生や初期臨床研修医を数多く受け入れるとともに、岡山県立真庭高等学校看護科、新見公立大学看護科、吉備国際大学理学療法学科等数多くの医療系学生の実習も受け入れ、医学教育・医師養成にも大きく貢献している。	
政井 俊憲	山口県阿武郡 阿武町国民健康保険福賀診療所・所長
昭和59年自治医科大学卒。卒業後約30年の永きにわたり、県内過疎地域の医療機関において情熱をもって勤務し、地域医療の確保・充実及び住民の健康福祉の増進に貢献している。昭和61年に、大島中部病院(現・周防大島町)で初めてへき地勤務、その後の平郡診療所(柳井市)勤務では、島でただ一人の医師であり、離島ならではの苦労も多々ある中、島民の医療確保、健康増進に努めた。平成5年からは、山間へき地診療所である現在の福賀診療所に勤務し、日常診療のほか、保健師・栄養士と協力しながら乳幼児健診、住民健診をはじめ、学校医として保育園、学校健診にも携わるほか、診療所便りを発行し、健康に関する情報を提供するなど、住民の健康増進に努めている。また、行政の医療・福祉関係委員として、国保運営協議会、地域福祉運営協議会等、多数の会議に参加し、地域医療の充実のために取り組んでいる。更に、約10年間阿武郡医師会の理事を務め、医師会活動にも尽力した。現在は、訪問看護師やケアマネージャー等と連携をとりながら、訪問診療やがん治療の病診連携の推進へ積極的に取り組んでいる。	
樋口 定信	熊本県上天草市 上天草市立上天草総合病院・事業管理者
昭和46年熊本大学医学部卒。昭和62年4月から上天草総合病院に副院長として勤務、平成2年9月には病院長に就任。訪問看護ステーション、老人保健施設、居宅介護支援センター等を併設し、医療・保健・福祉・介護を総合した地域包括ケアシステムを構築するためのハード面の整備・充実を図り、地域の医師会、福祉施設、社会福祉協議会、介護保険関連事業者及び行政等の機関との連携を深め、地域住民が住み慣れた町で健康で安心して生活できる福祉の町づくりを目指してきた。その結果、当院は、全国国民健康保険診療施設協議会から「地域包括医療・ケア認定施設」の認定を受けている。また、定期的にへき地診療所である御所浦北診療所、教良木診療所において診療を行い、周辺住民の健康増進に寄与している。平成19年6月に病院事業管理者に就任した後も、地域医療の確保のための医療活動を現在も続けている。長年にわたり地域医療の確保に尽力し、多大な貢献を果たしている。	

馬場 宏敏	大分県中津市 中津市国民健康保険槻木診療所・所長
昭和58年自治医科大学卒。義務年限終了後も、海岸部の佐伯市蒲江や山間部の中津市槻木など、県内でもとりわけ医療環境の厳しいへき地診療所へ自ら希望して赴任し、これまで通算29年間にわたり、へき地医療の最前線に立っている。現在の勤務地である中津市国民健康保険槻木診療所では、平成19年の着任以来、患者ひとり一人に寄り添った細やかな医療の提供に加え、専門の整形外科分野における高い評価により、人口が158人しかいない槻木地区において、近隣市町村からの来院が増え続け、年間、延べ約7,900人もの患者を受け入れている。さらに、地域住民の健康づくりや疾病予防にも力を注ぎ、「健康づくりは、地域づくり」をコンセプトに、地域住民を対象とする健康教室の開催や、認知症医療の研修を修了した医師が登録される「大分オレンジドクター（もの忘れ・認知症相談医）」として、認知症患者や家族が気軽に相談できる体制を整えている。また、自治医科大学や大分大学等の医学生や臨床研修医を毎年積極的に受け入れ、プライマリ・ケアや地域包括ケア等について、これまでへき地医療の現場で培ってきた豊富な経験と知識をもって、熱心に指導を行っている。平成26年には大分大学医学部附属地域医療学センター臨床教授に就任し、大学と連携した医学生や研修医の教育にも注力している。	

Ⅱ 福祉事業〔実施事業〕

1. 「スミセイさわやか介護セミナー」

国の介護保険制度が始まる9年前、平成3年にスタートした「スミセイさわやか介護セミナー」は、全国各地の地元新聞社との共催、住友生命保険相互会社（開催地支社）の協賛により毎年開催し、好評のうちに回を重ねて25年を迎えました。

行政の変化等、介護を取り巻く状況の変化に則し、適宜セミナー内容の見直しを行い、家庭に要介護者を抱えた家族、介護の仕事に就く人、さらには一般の方々に、広く介護関係の知識・技術を伝える役割を担っています。また、平成25年度からは、健康に老後を迎えるという観点から、「健康」(特にがん予防)もテーマに取り入れました。

セミナーでは、専門家による介護保険制度に関わる情報提供、関心が高まる認知症に関わる予防および介護等に関する医療・介護関係者による講演、健康をテーマにした医療関係者による講演、著名人の体験を踏まえた講演、看護師・介護士等の専門職による移動・食事・排泄・メンタルケア等の実技指導など、多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供しました。

平成27年度は全国38都市で開催し、参加者は延べ9,900名を超えました。



2. 「ケアする人のケア」セミナー

一般財団法人たんぽぽの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを毎年開催しています。平成27年度は、「『シェア（共有）』の思想を考えるとともに生きるコミュニティづくり」をテーマに、平成27年12月金沢市（石川県）で2日間にわたり開催しました。

NPO法人、独立行政法人、研究者等が講師・パネリストを務め、延べ155名の参加者がありました。1日目の「スタディツアー」は、平成26年度、年間20万人以上もの人が訪れているという「シェア金沢」を訪れて、障害の有無や老若男女を問わず、さまざまな人たちが交流している町づくりを見学しました。2日目の「セミナー」は、スピーチ・事例報告を通じて「ケア」を支える文化や仕組みを持った地域を増やすことを目指し、シェアの思想哲学と各地で行われている助け合いの仕組みや活動の実践から学び、支えあえる地域社会のあり方を考える機会となりました。

また、今年度は「テクノロジー」に焦点をあて、「ケアとソリューションフォーラム」を大阪で開催しました。今回はフォーラム形式で先端技術とケアの関わりから、ケアの本質や人間の役割について考えるプログラムを実施しました。テクノロジーによるケアを懐疑的に思う人もいますが、本来テクノロジーは人の負担を減らし、人と人との時間を増やしてくれる存在です。すでにテクノロジーを使っている現場の声と先端技術を学ぶことで、ケアの問題の解決策を探りました。（参加者39名）

平成25年度に開設した介護者を支える実践者の優れた取組み等を共有化するネットワーク「HELP ON HELP」は、団体情報やイベントの告知の掲載依頼が増えており、幅広いケアについての情報サイトとして定着しつつあります。

3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、大阪（平成27年10月）、東京（平成27年11月）で「その施設、親にとって あなたにとって安心？安全？」をテーマに、遠距離介護セミナーを開催しました。第1部は弁護士による「メディアが取り上げない身近な‘落とし穴’とは？」の講演、第2部は「体験者と専門家が語る！『お悩み軽減！遠距離介護アドバイストーク』」と題し、弁護士、ケアマネジャー、施設運営者等によるパネルディスカッションを行い、問題解決に向けたヒントを探りました。また、遠距離介護体験者にも登壇いただき、ご自身の経験からのアドバイスをお話いただきました。約200名の方が参加され、多くの質問もあり、充実したセミナーとなりました。

4. コミュニティケア活動支援

地域に密着したNPO等が「大きな福祉」実現に向け連携して取り組む活動を、コミュニティケア活動支援センター（コムケアセンター）を通じて支援しました。平成27年度も、重点テーマを「自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動」と「高齢者支援活動」に設定し、活動の中心になるNPOやグループとの連携を強め、新しい動きに向け注力しました。またコムケア活動の広がりを生み出すためのサロン活動を継続し、様々な活動との関係を深め、やわらかなネットワーク組織発想を広げることにも努めました。

平成27年度にコミュニティケア活動支援センターが取り組んだ事項は次のとおりです。

自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動	平成27年度も「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」の事務局業務を引き受け、平成25年度から取り組んでいる「自殺」をテーマにした少人数のラウンドテーブルミーティングの開催を中心に活動しました。「若い世代」「会社で働く人」を対象に継続的に取組み、公開ミーティング・フォーラムを開催しました。「若い世代」のラウンドミーティングは昨年度末に開催した学生対象の公開フォーラムに参加した学生たちを中心に4月から8月まで毎月重ねました。こうしたラウンドミーティングの動きを「ささえあい・新潟」が新潟市自殺対策実務者ネットワークで報告したことが刺激になって、新潟市では若者の自殺問題を話し合うプログラムが動き出しました。「会社で働く人」のラウンドミーティングは、少しテーマを広げて、「居場所づくり」や「産業カウンセラーとの意見交換」になってきています。また、若い世代と企業関係者のジョイント
-------------------------	---

自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動	ミーティングも開催しました。子供のいじめや自殺の問題において、いまの子どもたちの生活環境や学校状況から考えていこうということになり、「こどもNPO白書 2015」をまとめた、日本子どもNPOセンターと共催のかたちで、子どもシリーズのコムケアサロンを開始しました。「うつ・ひきこもりなどすべての人の居場所」プロジェクトは、誰でも、そこに行くと自分の居場所が見つかるような、ひらかれた気楽な場所がつかれないかと「ゆるカフェ・ネットワーク」プロジェクトをたちあげました。
高齢者支援活動	NPO法人認知症予防ネットは、実践者のネットワークが実態であり、ゲームの評価が高まり、活動が普及したために、当事者内で対応できないこともあって、その組織体制にまで踏み込んでの支援活動になりました。NPO法人認知症予防ネットの理事・監事とのミーティングを3回行い、また、それを実践面で支援するグループの組織化を支援しました。体制見直しの重要な柱としてNPO法人認知症予防ネットの正規のリーダー養成講座修了者の中から資格認定試験に合格した適任者を公認講師として認定することになりました。コムケア関西交流会が大阪で5回シリーズの「みんなの認知症予防ゲーム リーダー養成青い鳥講座」を開催しました。
コムケアネットワーク活動	メーリングリスト(全国約600～700人程度参加)を中心に、「大きな福祉」の視点に立った「支え合いの関係づくり」というコムケアの原点に立ち戻って基盤活動そのものの見直しを行いました。自殺問題や障害を持つ人の就労支援、メンタルヘルス問題などが多いのですが、今年度は福祉分野におけるソーシャルビジネスの起業に関する相談が増えています。

5. 子どものための児童館とNPOの協働事業

日本NPOセンターが主催する「子どものための児童館とNPOの協働事業」(一般財団法人児童健全育成推進財団協力)に協賛し、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する活動は9年目となりました。公募型助成プログラムに変更後5年目にあたる平成27年度は、14都道府県から応募があり、12都道府県、24児童館・16プログラム(4館合同、6館合同のプログラムあり)に支援しました。また、新たに岩手県での開催があり、過去に実施した地域と併せるとこれまでに24都道府県で実施しました。

平成27年度の応募プログラムの特徴は、地域へ幅広い展開と継続事業の高度化です。「地域マルチステークホルダーで解決する」という視点を持った活動が展開され、児童館とNPOだけでなく、地域団体や学区を越えた児童館同士の連携など、複数の主体が参画したプログラムが行なわれました。

6. 自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援するため、自然環境学習につなげる「第10回子どもエコ俳句大賞」を、NPO法人シニア自然大学校と協働して、近畿二府四県の小学生を対象に実施しました。平成27年度は応募句の中から特選3、準特選3、第10回記念賞30、優秀賞40、優良賞60の合計136句を選出し、平成28年1月24日に大阪市立こども文化センターで受賞者・家族約400名が出席のもと表彰式を行いました。

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	のこさない おじいちゃんの なつやさい 小林 慶悟 明石市 大久保小学校1年
	中学年	かわのなか すいかとわたし うかんでる 海老 美聡 堺市 鳳南小学校3年
	高学年	あざやかな 桜のよろい 彦根城 小山 虎峨 彦根市 城北小学校5年
準特選	低学年	そよ風が そっとおしてる ブランコを 松田 慎太郎 門真市 門真小学校2年
	中学年	あかとんぼ このゆび目ざせ いっとうしょう 薮野 美帆 藤井寺市 四天王寺学園小学校4年
	高学年	発電の 風車を回す 秋の風 福本 悟志 姫路市 香呂小学校6年

Ⅲ 音楽文化振興事業【実施事業(式典等の貸館を除く)】

平成27年度、いずみホールは年間29回の主催公演を開催しました。共催公演、貸館も含む公演数は213公演、年間の入場者総数は124,670名となりました。主催公演の入場者数は平均で653名(H26年度604名)でした。一昨年度に記録した過去最高(648名)を上回る入場者数を記録しました。貸館数は、前年から若干減りましたが、相変わらずアマチュア団体の活動は活発で土・日の貸館はほぼ予約でいっぱいになっています。全体の平均入場者数は585名(H26年度544名)と前年に比して大きく回復しました。

	平成27年度 ()は前年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	29 (33)	18,944 (19,923)	972	579,391
共催公演	5 (5)	3,002 (3,500)		
貸館(一般公演)	168(171)	102,724 (97,446)	5,193	2,858,482
貸館(レコーディング、式典等)	11(13)			
合計	213(222)	124,670(120,869)	6,165	3,437,873

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。

平成27年度は、3年間のシリーズとして企画した「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」の最終年度、モーツァルトがウィーンで活躍し若くして亡くなるまでの最後の5年間に焦点を当てて特集しました。まずは世界各地で活躍をするハーゲン弦楽四重奏団が登場。続いて最後のオペラ「魔笛」を東西の歌手を集めて上演しました。いずみシンフォニエッタ大阪に世界的ソリスト2人を招いた協奏曲の夕べを開催。日本センチュリー交響楽団による「三大交響曲」。そして最後はウィーン楽友協会合唱団による渾身の「レクイエム」の演奏によって、三年間にわたる壮大なシリーズを終えました。

バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も4年目を迎えました。そのほか現代音楽を積極的に紹介する「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会、定番シリーズとなっている「ランチタイム・コンサート」、有名アーティストによる「スペシャル・コンサート」「ミュージック・ステージ」「サマーヴァケーションコンサート」など、バラエティに富むラインアップで、多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。

一つ残念であったのは、11月に予定しておりました92歳の現役ピアニストであるメナヘム・プレスラー氏が持病の悪化のため来日できず、コンサートが中止となったことです。

障害のある方々とサポートする方々をご招待する「夢コンサート」は13年目を迎えました。また、若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続、Osaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約3,000人がいずみホールを訪れました。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【モーツァルト～未来へ飛翔する精神(プレ企画+全5公演)】

9/3 (木)	モーツァルト・プレ企画～レクチャー・コンサート 「モーツァルトの歳の取り方を考える」 久元祐子(ピアノ)、鈴木 准(テノール)、磯山 雅(解説)	539
9/30 (水)	I.「開かれた五重奏の世界」 ハーゲン弦楽四重奏団、川本嘉子(ヴィオラ) モーツァルト:弦楽四重奏曲 第21番 ニ長調 K.575 モーツァルト:弦楽五重奏曲 第3番 ハ長調 K.515 ほか	603
11/28 (土)	II.「理想の音楽を求めて」 河原忠之(指揮)、高岸末朝(演出)、ジョン・ハオ(ザラストロ) 中井亮一(タミーノ)、大武彩子(夜の女王)、砂川涼子(パミーナ) ほか モーツァルト:オペラ『魔笛』 K.620	707
12/5 (土)	III.「清浄のコンチェルト」 ポール・メイエ(指揮・クラリネット)、アンドレアス・シュタイアー(ピアノ) いずみシンフォニエッタ大阪 モーツァルト:クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 モーツァルト:ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595 ほか	741
1/29 (金)	IV.「極められた高峰」 ガエタノ・デスピノーサ(指揮)、日本センチュリー交響楽団 モーツァルト:交響曲 第39番 変ホ長調 K.543 モーツァルト:交響曲 第40番 ト短調 K.550 モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」	599
2/27 (土)	V.「調べは世の終わりを超えて」 マティアス・バーメルト(指揮)、市原 愛(ソプラノ)、加納悦子(アルト) 鈴木 准(テノール)、山下浩司(バス)、ウィーン楽友協会合唱団 大阪フィルハーモニー交響楽団 モーツァルト:交響曲 第25番 ト短調 K.183 モーツァルト:レクイエム ニ短調 K.626	757

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/18 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第35回定期演奏会 「天女散花、恋は魔術師♡」 飯森範親(指揮)、鈴木大介(ギター)、林美智子(メゾ・ソプラノ) 西村 朗:ギター協奏曲「天女散花」 坂東祐大:めまい ファリャ:『恋は魔術師』(1915年版) ほか	371
2/6 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第36回定期演奏会 「魅惑のイタリアン&誕生《第5》！」 三ツ橋敬子(指揮)、太田真紀(ソプラノ) ベリオ:フォークソングス より シャリーノ:電話の考古学 西村 朗:室内交響曲 第5番「リンカネイション」 ほか	468

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会】

6/20 (土)	第7回 オ・チャギョン(オルガン)、礒山 雅(お話) J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ホ長調 BWV566 “いと尊きイエスよ、われらはここに集いて”BWV634 ほか	485
1/16 (土)	第8回 ヴォルフガング・リュプザム(オルガン)、礒山 雅(お話) J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ハ短調 BWV546 シュープラー・コラル集 BWV645-650 ほか	671

【ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:日下部吉彦)】

6/29 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 92 「男群」 男群(パーカッション・アンサンブル) マンボ・メドレー(笠井亮編曲) ショパン:幻想即興曲 ほか	751
9/15 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 93 「大谷康子」 大谷康子(ヴァイオリン)、藤井一興(ピアノ)、礒山 雅(お話) クライスラー:愛の喜び サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ほか	687
12/14 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 94 「土橋 薫」 土橋 薫(パイプオルガン)、日下部吉彦(企画・構成、お話) J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ハ長調 BWV547 W.ボルコム:ゴスペルプレリュード より「アメイジンググレイス」 ほか	761
3/9 (水)	ランチタイム・コンサートvol. 95 「古瀬まきを」 古瀬まきを(ソプラノ)、清原邦仁(テノール)、藤江圭子(ピアノ) 日下部吉彦(企画・構成、お話) モーツァルト:モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」 ドニゼッティ:『ランメルモールのルチア』より ほか	716

【ミュージック・ステージ】

4/25 (土)	青春の吹奏楽Part II 現田茂夫(指揮)、Osaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団) スーザ:星条旗よ永遠なれ ホルスト:吹奏楽のための第1組曲 ほか	781
5/13 (水)	アリス=紗良・オット ピアノ・リサイタル ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調「テンペスト」 バッハ=ブゾーニ:シャコンヌ ほか	773
8/8 (土)	サマーヴァケーションコンサート 角田鋼亮(指揮)、ロザン(案内役)、大阪交響楽団 J.シュトラウス II:「雷鳴と電光」 メンデルスゾーン:『夏の夜の夢』より 「結婚行進曲」 ほか	778
11/17 (火)	メナヘム・プレスラー(ピアノ)	公演中止
12/18 (金)	クリスマス・コンサート2015 Music Party NAOTO(ヴァイオリン)、小松亮太(バンドネオン)、国府弘子(ピアノ)ほか	723

	Xmas Medley ～The Christmas Song～Let It Snow～White Christmas ～We Wish You A Merry Christmas～ ほか	
--	---	--

【その他公演】

5/21 (木)	ロベルト・ホル(バス・バリトン) & みどり・オルトナー(ピアノ) シュューベルト:「魔王」D328、「プロメテウス」D674 ブラームス:四つの厳粛な歌 op.121 ほか	413
6/4 (木)	庄司紗矢香(ヴァイオリン) & ジャンルカ・カシオーリ(ピアノ) モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第35番 ト長調 K.379 ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ ト長調 ほか	733
7/9 (木)	アンサンブル・ウィーン＝ベルリン メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」(木管五重奏版) ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲「アメリカ」(木管五重奏版) ほか	568
8/28 (金)	IZUMI JAZZ NIGHT 山中千尋(ピアノ) Londonderry Air (Danny Boy)／八木節 ほか	577
10/31 (土)	IZUMI JAZZ NIGHT 小曾根真(ピアノ) in Concert Special Guest 中川英二郎(トロンボーン)	723
1/7 (木)	ニューイヤー・コンサート2016 ウィーン・リング・アンサンブル J. シュトラウスⅡ:オペレッタ『こうもり』序曲 エドゥアルト・シュトラウス:ポルカ「速達郵便で」 ほか	663
2/18 (木)	樫本大進(ヴァイオリン) & コンスタンチン・リフシッツ(ピアノ) ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 op.30-2 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100 ほか	769
3/26 (土)	ディレクターズ・セレクション 藤原道山15th Anniversary「風雅竹韻」 藤原道山、永廣孝山(尺八)、礒山 雅(お話) ほか 山本邦山:尺八二重奏曲 第三番 “対動” 藤倉 大:ころころ～独奏尺八のための ほか	731

【普及事業】

8/21 (金)	いずみ子どもカレッジ2015 こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」	605
10/7 (水)	いずみホール夢コンサート 藤岡幸夫(指揮)、渡辺玲子(ヴァイオリン) 関西フィルハーモニー管弦楽団 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64 シベリウス:「フィンランディア」 ほか	622
10/22 (木)	作曲家・西村朗が案内するクラシック音楽の愉しみ方Ⅵ いずみホール音楽講座『舞踊の泉』 西村 朗(お話)、安藤史子(フルート)、中島慎子(ヴァイオリン) 伊藤朱美子(マリンバ)、碓山典子(ピアノ) ショパン:「子犬のワルツ」「英雄ポロネーズ」、マズルカ 第15番 ブラームス:「ハンガリア舞曲集」より 第5番、第6番 モンティ:「チャルダッシュ」 ほか	629

IV 財団組織運営に関する事項

1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

平成25年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行から2年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、平成26年度の公益目的支出計画実施報告書等を平成27年6月23日に内閣府へ提出しました。

平成25年4月1日移行時の公益目的財産額 2, 906, 799, 046円

平成26年度末日の公益目的収支差額 671, 900, 822円

平成26年度末日の公益目的財産残額 2, 234, 898, 224円

2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおり。

【評議員会】

定時 平成27年 6月19日

「平成26年度事業報告について」(報告事項)

「平成26年度計算書類承認の件」

「平成26年度公益目的支出計画実施報告書について」(報告事項)

「内部統制に関する基本方針等改定について」(報告事項)

「理事会運営規則改定について」(報告事項)

「平成27年度事業計画および予算について」(報告事項)

【理事会】

第1回 平成27年 5月29日 (決議省略)

「平成26年度計算書類等承認の件」

「平成26年度公益目的支出計画実施報告書承認の件」

「内部統制に関する基本方針等改定承認の件」

「理事会運営規則改定承認の件」

「平成27年度定時評議員会招集の件」

第2回 平成27年 6月19日

「平成27年度職務執行状況について」(報告事項)

第3回 平成28年 3月17日

「平成28年度事業計画および収支予算承認の件」

「マイナンバー管理規程制定並びに関連規程改定承認の件」

「平成28年度大阪音楽大学との取引承認の件」

「平成27年度職務執行状況(4月～1月)について」(報告事項)

「平成27年度大阪音楽大学との取引結果について」(報告事項)

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(平成25年4月1日制定、平成27年5月29日改定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (7) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (8) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

各規程に基づく報告事項は以下のとおりですが、経営に重大な影響を与える事案、受益者等の利益が著しく阻害される事案等はありませんでした。

規程名	報告内容	H27年4月～H28年3月の状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。

4. 規程の制定・改定

平成27年5月29日 第1回理事会

「理事会運営規則改定」（平成27年5月29日施行）

平成28年3月17日 第3回理事会

「マイナンバー管理規程制定並びに関連規程改定」（平成27年12月10日施行）

5. 評議員・役員の状況

平成27年度における評議員・役員の異動はありません。

評 議 員 名 簿（敬称略）

（平成28年3月31日現在）

評 議 員	小 栗 ま ち 絵	相愛大学音楽学部 教授・ヴァイオリニスト
評 議 員	川 木 一 正	曾根崎法律事務所 弁護士
評 議 員	楠 岡 英 雄	国立病院機構大阪医療センター 院長
評 議 員	斉 藤 弥 生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評 議 員	佐 藤 義 雄	住友生命保険相互会社 取締役会長 代表執行役
評 議 員	中 嶋 直 躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評 議 員	藤 本 宏 樹	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長

役 員 名 簿（敬称略）

（平成28年3月31日現在）

理 事 長	田 辺 恭 久	一般財団法人住友生命福祉文化財団 いずみホール事業局長
常 務 理 事	若 林 昌 憲	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
理 事	阿 部 裕	大阪労災病院・国立病院機構大阪医療センター 名誉院長
理 事	宇 高 不 可 思	一般財団法人住友病院 副院長
理 事	塩 野 元 三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理 事	中 村 孝 義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理 事	堀 本 葉 子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム 所長
理 事	三 野 哲 治	住友ゴム工業株式会社 相談役
監 事	上 野 博 明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監 事	片 山 登 志 子	片山・平泉法律事務所 弁護士

6. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科 目					当年度	前年度	増 減
Ⅰ 資産の部							
1. 流動資産							
現金	預	金			941,877,355	822,108,681	119,768,674
未収	収	収			1,100,481	1,254,563	-154,082
未貯	蔵	金			166,382,170	165,740,134	642,036
有価	証	品			18,336,450	19,207,928	-871,478
立前	替	券			139,117,573	300,000,000	-160,882,427
未収	費	金			27,050	4,050	23,000
未還	税	用			4,894,947	6,297,526	-1,402,579
未付	法	人			1,291,358	1,473,171	-181,813
					1,273,027,384	1,316,086,053	-43,058,669
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
投資	有	価	証	券	689,801,304	689,902,139	-100,835
普通	通	預		金	11,039,350	11,039,350	0
基本財産合計					700,840,654	700,941,489	-100,835
(2) 特定資産							
退職	給	付	引	資	118,892,520	102,721,520	16,171,000
設備	更	新	引	産	91,984,896	141,419,760	-49,434,864
特定資産合計					210,877,416	244,141,280	-33,263,864
(3) その他固定資産							
建物	附	属	設	備	38,194,508	42,225,058	-4,030,550
構築	器	築	備	物	2,097,783	2,155,691	-57,908
什器	備	品			198,567,941	181,247,644	17,320,297
ソフトウェア	有	価	工	券	32,418,101	58,964,478	-26,546,377
投資	話	加	入	権	263,524,692	403,409,815	-139,885,123
電敷				金	432,000	432,000	0
長期	前	払	費	用	4,652,000	4,652,000	0
前期					29,829	80,964	-51,135
その他固定資産合計					539,916,854	693,167,650	-153,250,796
固定資産合計					1,451,634,924	1,638,250,419	-186,615,495
資産合計					2,724,662,308	2,954,336,472	-229,674,164
Ⅱ 負債の部							
1. 流動負債							
未払	払	費		金	109,187,154	97,898,751	11,288,403
未預	り			金	10,234,487	9,873,271	361,216
前賞	受			金	4,180,630	2,095,460	2,085,170
賞与	引			金	16,871,800	29,378,750	-12,506,950
未払	当			金	43,655,806	44,881,150	-1,225,344
未払	税			等	120,000	120,000	0
未払	費			等	7,541,800	25,399,300	-17,857,500
流動負債合計					191,791,677	209,646,682	-17,855,005
2. 固定負債							
退職	給	付	引	金	145,383,530	160,015,037	-14,631,507
固定負債合計					145,383,530	160,015,037	-14,631,507
負債合計					337,175,207	369,661,719	-32,486,512
Ⅲ 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
寄付				金	699,513,759	699,612,379	-98,620
指定正味財産合計					699,513,759	699,612,379	-98,620
(うち基本財産への充当額)					699,513,759	699,612,379	-98,620
2. 一般正味財産							
(うち基本財産への充当額)					1,687,973,342	1,885,062,374	-197,089,032
(うち特定資産への充当額)					1,326,895	1,329,110	-2,215
正味財産合計					91,984,896	141,419,760	-49,434,864
負債及び正味財産合計					2,387,487,101	2,584,674,753	-197,187,652
					2,724,662,308	2,954,336,472	-229,674,164

(注)実施事業資産は次のとおりである。

建物	3,537,908
構築物	2,097,783
什器備品	6,988,454
ソフトウェア	1,132,460
	13,756,605

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

科 目		当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産	7,145,621	7,137,785	7,836
	特定資産	7,145,621	7,137,785	7,836
	健康診断	0	28,650	-28,650
	受取利息	0	28,650	-28,650
	受取配当金	1,272,451,451	1,288,839,861	-16,388,410
	受取補助金	1,058,589,223	1,066,878,256	-8,289,033
	受取寄附金	213,862,228	221,961,605	-8,099,377
	受取雑収益	35,907,000	35,321,000	586,000
	受取雑収益	35,907,000	35,321,000	586,000
	受取雑収益	385,000,000	385,000,000	0
	受取雑収益	385,000,000	385,000,000	0
	受取雑収益	8,914,178	11,857,259	-2,943,081
	受取雑収益	7,711,694	10,781,132	-3,069,438
	受取雑収益	1,202,484	1,076,127	126,357
	経常収益計	1,709,418,250	1,728,184,555	-18,766,305
(2)	経常費用			
	役員報酬	1,880,892,239	1,860,714,634	20,177,605
	給与	10,896,689	0	10,896,689
	退職給付	357,768,896	367,457,771	-9,688,875
	福利厚生	328,221,229	324,639,011	3,582,218
	旅費	26,413,688	32,061,129	-5,647,441
	通運費	90,679,089	84,866,601	5,812,488
	消耗品	15,726,948	13,015,951	2,710,997
	減価償却費	31,188,593	31,450,292	-261,699
	修繕費	21,203,513	22,036,326	-832,813
	印刷費	103,680,083	101,572,950	2,107,133
	光熱費	979,403	817,420	161,983
	賃借料	11,733,893	12,680,299	-946,406
	雑費	143,984,112	146,000,224	-2,016,112
	雑費	38,609,458	45,384,281	-6,774,823
	雑費	13,441,270	13,173,282	267,988
	雑費	15,210,780	15,082,883	127,897
	雑費	152,959,627	154,016,601	-1,056,974
	雑費	1,438,432	1,120,020	318,412
	雑費	4,260,369	4,001,857	258,512
	雑費	2,819,940	3,044,468	-224,528
	雑費	23,170,772	22,376,286	794,486
	雑費	1,473,563	1,656,860	-183,297
	雑費	19,500,000	21,000,000	-1,500,000
	雑費	247,388,289	223,940,559	23,447,730
	雑費	7,871,999	7,108,118	763,881
	雑費	84,687,451	86,454,367	-1,766,916
	雑費	125,584,153	125,757,078	-172,925
	雑費	25,602,319	26,191,006	-588,687
	雑費	3,840,000	2,566,666	1,273,334
	雑費	9,280,535	10,273,859	-993,324
	雑費	440,805	1,252,364	-811,559
	雑費	4,944,667	4,085,218	859,449
	雑費	0	2,821	-2,821
	雑費	401,530	666,762	-265,232
	雑費	21,016	37,670	-16,654
	雑費	14,137	27,741	-13,604
	雑費	23,991	275	23,716
	雑費	35,127	38,611	-3,484
	雑費	3,846	10,498	-6,652
	雑費	484,200	393,100	91,100
	雑費	56,487	64,684	-8,197
	雑費	591,516	602,942	-11,426
	雑費	168,658	167,444	1,214
	雑費	1,253,895	1,284,825	-30,930
	雑費	725,331	729,874	-4,543
	雑費	2,110,579	2,889,819	-779,240</

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

- 22 -

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外のその他の有価証券・・・期末日の市場価額等に基づく時価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。
- (3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
- (4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
- (5) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計上している。
なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (6) 消費税等の会計処理
税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	689,902,139	0	100,835	689,801,304
普通預金	11,039,350	0	0	11,039,350
小 計	700,941,489	0	100,835	700,840,654
特定資産				
退職給付引当資産	102,721,520	16,171,000	0	118,892,520
設備更新引当資産	141,419,760		49,434,864	91,984,896
小 計	244,141,280	16,171,000	49,434,864	210,877,416
合 計	945,082,769	16,171,000	49,535,699	911,718,070

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	689,801,304	688,474,409	1,326,895	0
普通預金	11,039,350	11,039,350	0	0
小 計	700,840,654	699,513,759	1,326,895	0
特定資産				
退職給付引当資産	118,892,520	0	0	118,892,520
設備更新引当資産	91,984,896	0	91,984,896	0
小 計	210,877,416	0	91,984,896	118,892,520
合 計	911,718,070	699,513,759	93,311,791	118,892,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	642,342,450	604,147,942	38,194,508
構築物	2,797,498	699,715	2,097,783
什器備品	720,276,758	521,708,817	198,567,941
ソフトウェア	138,888,564	106,470,463	32,418,101
合 計	1,504,305,270	1,233,026,937	271,278,333

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	1,092,443,569	1,143,993,312	51,549,743
合 計	1,092,443,569	1,143,993,312	51,549,743

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,612,379	0	98,620	699,513,759	指定正味財産
平成27年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
平成27年度文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等活性化事業)	文化庁	0	33,307,000	33,307,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人関西・大阪21世紀協会	0	800,000	800,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人花王芸術・科学財団	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「魔笛」公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
合 計		699,612,379	420,907,000	421,005,620	699,513,759	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	7,128,032
合 計	7,128,032

8. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳 (単位:円)

退職給付債務	-177,536,000
会計基準変更時差異の未処理額	32,152,470
退職給付引当金	-145,383,530

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

勤務費用	20,424,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	26,854,493

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	44,881,150	43,655,806	44,881,150	0	43,655,806
退職給付引当金	160,015,037	26,484,493	41,116,000	0	145,383,530

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

[illegible]

予算額: 49.161.000 決算額: 90.392.406

財産目録（参考資料）

平成28年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金 額
(流動資産)	現金	手元保管（予防医学振興事業）	1,573,043
		手元保管（音楽文化振興事業）	1,467,986
	預金	普通預金	105,057
		三井住友銀行（予防医学振興事業）	940,304,312
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	409,695,321
		みずほ銀行（予防医学振興事業）	34,986,445
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	4,410,526
		三井住友銀行（福祉事業）	227,613,513
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	19,490,527
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	111,392,308
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	10,171,234
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	6,901,141
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	122,000
		三菱東京UFJ銀行（音楽文化振興事業）	1,131,702
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	2,037,366
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	15,000,000
		ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業）	316,358
		三井住友銀行（法人会計）	97,035,871
	未収収益		1,100,481
	未収金	予防医学振興事業未収金	166,382,170
(固定資産)		音楽文化振興事業未収金	127,449,700
		式典等賞館事業未収金	38,744,594
	貯蔵品		187,876
		予防医学振興事業貯蔵品	18,336,450
		福祉事業貯蔵品	16,779,178
		音楽文化振興事業貯蔵品	5,208
	有価証券		1,552,064
		第102回利付国債（予防医学振興事業）	139,117,573
		第100回利付国債（法人会計）	100,116,000
	立替金		39,001,573
	前払費用		27,050
		予防医学振興事業前払費用	4,894,947
		音楽文化振興事業前払費用	1,314,431
			3,580,516
	未収還付法人税等		1,291,358
	流動資産合計		1,273,027,384
	基本財産	投資有価証券	700,840,654
			689,801,304
		第41回利付国債（法人会計）	80,402,720
		第319回利付国債（法人会計）	196,666,340
		第311回利付国債（法人会計）	258,055,311
		第61回利付国債（法人会計）	98,431,892
		第305回利付国債（法人会計）	56,245,041
	普通預金		11,039,350
		三菱東京UFJ銀行（法人会計）	11,039,350
	特定資産		210,877,416
	退職給付引当資産		118,892,520
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	87,721,520
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	31,171,000
	設備更新引当資産		91,984,896
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	91,984,896
	その他固定資産		539,916,854
	建物付属設備		38,194,508
	構築物		2,097,783
	什器備品		198,567,941
	ソフトウェア		32,418,101
	投資有価証券		263,524,692
		第290回利付国債（予防医学振興事業）	100,266,000
		第106回利付国債（予防医学振興事業）	50,120,342
		第307回利付国債（法人会計）	68,222,387
		第61回利付国債（法人会計）	44,915,963
	電話加入権		432,000
	敷金		4,652,000
	長期前払費用		29,829
	固定資産合計		1,451,634,924
	資産合計		2,724,662,308
(流動負債)	未払金	予防医学振興事業未払金	109,187,154
		音楽文化振興事業未払金	97,063,540
	未払費用		12,123,614
		予防医学振興事業未払費用	10,234,487
		音楽文化振興事業未払費用	7,199,673
		法人会計未払費用	3,022,988
			11,826
	預り金		4,180,630
	前受金		16,871,800
		音楽文化振興事業前受金	16,364,200
		式典等賞館事業前受金	507,600
	賞与引当金		43,655,806
		予防医学振興事業賞与引当金	34,579,588
		音楽文化振興事業賞与引当金	9,039,830
	未払法人税等	法人会計賞与引当金	36,388
	未払消費税等		120,000
			7,541,800
	流動負債合計		191,791,677
(固定負債)	退職給付引当金		145,383,530
		予防医学振興事業退職給付引当金	114,212,530
		音楽文化振興事業退職給付引当金	31,171,000
固定負債合計			145,383,530
負債合計			337,175,207
正味財産			2,387,487,101

監 査 報 告

平成 2 8 年 5 月 2 0 日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 田辺 恭久 殿

監事 上野 博明 ㊞

監事 片山 登志子 ㊞

私たち監事は、平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上